

福井宇部生コン大臣認定

県内初 耐久性優れ 需要多く

高強度コンクリート製造

生コン製造などの福井宇部生コンクリート(本社福井市上森田5丁目、南谷哲彦社長)は、圧縮強度の高い高強度コンクリート製造に関して国土交通省の大臣認定を県内では初めて取得した。高強度コンクリートは耐久性に優れ、建物に使用すれば柱を細くしたり、柱の間隔を広くすることが可能になり、設計の自由度が高まるメリットがある。

設計自由度も高まる

コンクリートは砂利、砂、水、セメントを混ぜて固めるが、高強度コンクリートはセメントの配合量を増やす。単にセメントを増量するだけでは粘度が高く施工性が悪くなるため、溶剤を混ぜる。それぞれの配合量や練り具合、品質の均一性などがノウハウとなる。大臣認定を取得した高強度コンクリートであれば建築物には使用できない。高強度コンクリートの圧縮強度は1平方メートル当たり39〜60ニュートンで、北陸で認定工場は数社

あるという。しかし、高強度コンクリートは運送時間が90分程度が限度とされており、他府県から取り寄せて使用することは難しいという。高強度コンクリートのメリットは柱や梁を細く



強度コンクリートを使用しなければならぬという。高強度コンクリートは、雨水なども浸透しにくく、耐久性に優れている。高強度コンクリートを使用

高強度コンクリート製造で大臣認定を受けた福井宇部生コンクリートの福井工場(福井市上森田5丁目)……
「基準はなく、価格は普通コンクリートに比べ1・5〜3倍かかるが、耐久性の面などから、全国的には需要は高まっており、基礎部分にだけ使用するなどの利用方法もあるという。」
同社の石川裕夏常務は「差別化がしにくい生コンに新たな価値を提案できるようにした。技術力をアピールしていきたい」と話し、今後はゼネコンや設計事務所などに説明し、受注につなげていきたいとしている。